

## お知らせ（平成27度）

### 『第8回 鹿児島県透析看護研究会参加報告』

場 所： 鹿児島県青少年会館 大ホール

日 時： 平成27年7月19日(日) 10:00～13:00

第8回鹿児島県透析看護研究会へ世話人2名が参加させて頂きました。会場は、鹿児島県内を中心にした参加者でほぼ満席でした。

一般演題は、「透析室の看護管理」「感染症対策」「高齢者透析について」の3題で、身近な問題をテーマにされ、様々な情報を得る機会となりました。特に高齢者の透析については、今後の社会の動向からも考えていかなければならない課題です。キーパーソンの協力が得られず、体重コントロールに苦慮していた患者に対し、透析室看護師・MSWが自宅訪問をし、生活環境や具体的な食事、服薬状況を確認し、社会サービスの活用や問題に対する介入へ繋げ、外来透析を継続している事例紹介がありました。在宅に目を向けた生活支援は、安定した透析ライフに必要な不可欠であると思います。しかし、外来の一場面だけでは、生活背景が十分に把握できないこともあり、家族・地域・在宅との連携を改めて強化していくことの大切さを考えさせられました。

その後、東京医科大学 精神医学分野准教授 市来真彦先生による『腎不全疾患をもつ患者の健康を考える』の特別講演が行われました。健康＝病気＋元気は、病気であっても元気が病気を上回れば、イコール健康になるといった考え方です。病気だけでなく、「その人固有の元気」に着目し、患者自身が主体的に治療に取り組むためにも、私たち医療者は、患者の元気作りに貢献すること、元気の元はいくつあってもいい、また、元気度は「笑い」というメッセージがありました。患者だけでなく、医療者自身も元気度を上げ、患者を支援していくことの必要性を感じ、講演を通し、心身共に活気が得られた研修となりました。

### 『第17回熊本県腎不全看護研究会』



場 所： 済生会熊本病院 外来ガン治療センター

日 時： 2015年9月6日(日)

この度は雨で足元が悪い中、研究会にご参加いただきありがとうございました。

一般演題で阿蘇温泉病院の大坂啓子先生より『かゆみ撲滅大作戦 ～かゆみに負けない！あきらめないアプローチ～』を特別演題でNPO 法人日本看護キャリア開発センター代表の下山節子先生より『教育場面に活かすコーチング』としてご講演いただきました。2演題ともすぐに現場で活かすことが出来る内容だったのでとても実りのある研究会になったのではないかと思います。次回の研究会への参加もお待ちしております。

## 『第3回福岡 CKD 看護研究会』



テーマ：もっと知ろう！CKD 看護(慢性腎臓病保存期・腎移植・PD・HD)

場所：九州大学病院 百年講堂

日時：平成27年7月26日(日)10:00～16:00

今年の福岡県 CKD 看護研究会も台風の影響で雨・風が予想されましたが、朝からの天候は晴れで、心配していた参加者は多かったです。私は、毎年参加していますが、年々規模が大きくなり、内容も充実しています。ちょっとした小規模学会のような感じで、学ぶことが沢山あります。また、交流集会やワークショップなどがあり、参加型の研修を多く取り入れてありました。今年からランチオンセミナーも開催され、①「透析療法と ESA～救世主、そして新たなマネジメントの時代へ～」②「透析そう痒症治療～チーム医療の重要性～」③「糟屋地区 CKD 対策連携システムと治療・糟屋地区における CKD への三位一体型の取り組み」がありました。私は②に参加しましたが、あかね会大町土谷クリニックの高橋妙子先生の講演で、かゆみの強い透析患者は、やや抑うつ傾向であり、睡眠障害が著しく、かゆみの強さは生存率と負の相関を示すことが明らかとなっているという内容でした。今後、透析そう痒症におけるかゆみ改善の重要性を感じました。他にも交流集会・ワークショップ・スイーツセミナー・ポスターなど盛りだくさんの内容で充実した研修でした。

今後も当研究会では年2回の研究会を企画し開催していく予定ですのでご参加をよろしくお願いいたします。また、ホームページも活動報告などを定期的に掲載していく予定ですのでご覧ください。